

仕様書

1. 調達物品及び構成内容

液体窒素下凍結保存容器 一式

構成・内訳

- 1 ・液体窒素下凍結保存容器 1台
- 2 ・ホットガスバイパス 1式
- 3 ・加圧式液体窒素貯蔵器 2台
- 4 ・容器内仕切り板 1個

※搬入・据付及び設置時動作点検を含む。

2. 納入場所・期限

(1) 納入場所

神奈川県立がんセンター（横浜市旭区中尾二丁目3番2号）

病院棟 1階 検査科 細胞処理室

(2) 納入期限

令和5年3月20日

3. 技術的要件

納入物品については以下の要件を満たすこと。

性能・機能に関する要求事項

1-1 液体窒素下凍結保存容器の要求事項

1-1-1 加圧式液体窒素貯蔵器と接続され、液体窒素によって冷却する保存容器であること。

1-1-2 保存容器の液体窒素容量は、最大400リットル以上であること。

1-1-3 液体窒素量の下限（ローレベル）と上限（ハイレベル）を任意で設定する機能を有すること。

1-1-4 蒸発により液体窒素が下限（ローレベル）に達すると、接続されている加圧式液体窒素貯蔵器から上限（ハイレベル）まで自動で液体窒素が供給される機能を有すること。

1-1-5 保存方法は液相保存、気相保存の両方を選択することが可能であること。

1-1-6 高温警報を有すること。

1-1-7 設定した液体窒素量の下限を下回った時に警報する機能を有すること。

1-1-8 外部警報接続端子が標準装備されていること。

1-1-9 移動用キャスターが標準装備されていること。

1-1-10 リッド（蓋）のオープンキー、各種設定を行うコントロールパネルへのアクセスキー、誤動作を防止する埋め込み型電源スイッチなどのセキュリティ機能を有すること。

1-1-11 液相保存時において、収納するバッグを200枚以上収納することができること。

2-1 ホットガスバイパスの要求事項

2-1-1 窒素ガスの庫内への流入を防ぎ、安全な保存環境を保つ機能を有すること。

3-1 加圧式液体窒素貯蔵器の要求事項

3-1-1 納品対象となる液体窒素下保存容器に対応する最大の液体窒素充填容量であるこ

- と。
- 3-1-2 液面計、圧力計が標準装備されていること。
 - 3-1-3 容器圧力は液体窒素下凍結保存容器の推奨圧力である約0.1～約0.2MPaの範囲内で安定する安全弁が装備されていること。
 - 3-1-4 本体の材質はステンレス製であること。

4-1 容器内仕切り板の要求事項

- 4-1-1 容器内仕切り板を設置することにより、バッグ保管容器が庫内で転倒しないように収納できること。

4. その他

- 1 納入後1年間は無償にて定期点検・調整及び故障修理等を随時行うこと。
- 2 本物品に必要な消耗品及び故障時等の物品について納入後5年間の供給が確保されていること。
- 3 障害時において、復旧のための対応が出来ること。
- 4 納入における搬入・設置に係る工事が必要な場合は発注者の許可を得て行うこと。
- 5 納入に際する搬入・工事に係る費用は受注者が負担すること。